

地域密着型サービス自己評価票

- 指定小規模多機能型居宅介護
(指定介護予防小規模多機能型居宅介護)
- 指定認知症対応型共同生活介護
(指定介護予防認知症対応型共同生活介護)

(よりよい事業所を目指して・・・)

記入年月日	平成20年8月10日
事業所名	ニチイのほほえみ鶴が沢(2F)
事業所番号	2391400039
記入者名	職名 管理者 鈴木 恒剛
連絡先電話番号	052-879-3661

(様式1)

自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.理念に基づく運営			
1.理念と共有			
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域密着型のサービスの意義をスタッフ全員が理解し、地域との関係を強化・理解を得る。	なじみの関係をつくりあげる。毎日の散歩中の挨拶や町内の行事に参加する。(掃除など)
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	カンファレンス、ミーティング等にて具体的なケア・記録について意見の統一を図っている。	ホーム内会議において話し合いの時間を、今よりも増やしていきたいです。より具体的・包括的な会議の実施。
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	推進会・家族会等の集まりの場を通じて説明・理解を得るようにしている。	地域行事の参加や広報誌発行などによりホームの内容・役割などの実情を発信していきたいです。
2.地域との支えあい			
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	外出、散歩時の挨拶が主です。	スタッフユニホームにより近隣の方より問い合わせをいただく事がありますので、行事实施前のお知らせや声かけ・扉の開放など、すぐに行いたいことを実践していきたいです。
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会参加を基本としています。	中学生・高校生の職場体験の受け入れや365日、24時間体制の利点を活かし、子供110番などの受け入れも行っていきたいです。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6 事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	推進会を通じて町内会長、民生委員に声を掛けている。		地域包括支援センターや医療機関のソーシャルワーカーとの連携を密にしていきたいです。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部評価の意義や目的をスタッフ間で共有し、ユニットリーダーを中心に自己評価に取り組むようにしています。		外部評価の結果を踏まえて、ホーム会議やカンファレンス等においてスタッフ全員が理解し、改善できるように努めていきたいです。
8 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている	推進委員会で出た意見・目的を取り入れ、鶴が沢通信の発行を行う。行事予定の連絡を密にすることにより、ご家族の参加がしやすいようにしている。		鶴が沢通信の定期的な発行を行いたいです。
9 市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	随時、相談を行っている。		現状維持を続けたいです。
10 権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	ご家族・地域の方等の相談に答えられるようにしている。		勉強会の実施や講習会の参加などを行ってきたいです。
11 虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	ホーム会議やカンファレンス等を通じて虐待の認識を深めている。		拘束委員会を設け、話し合い、ケアの統一を図っている。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>必要な書類の説明と同意により、署名・捺印をお願いし、理解をいただいています。また状態の変化があった場合は、随時連絡を行っています。</p>	<p>推進会・家族会を通して質問・疑問の有無の確認を行っています。指摘があればすぐにでも対応させていただきます。</p>
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>お客様の言葉や態度から察するような雰囲気作り、声かけを行っている。</p>	<p>食事、入浴、排泄、行事など、毎日の生活の会話から“何を望まれているのか”、自然と聞こえてくるような環境作りに努めていきたいです。</p>
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	<p>ご家族の来所時や状態の変化に応じて直接または電話連絡など報告を行っている。</p>	<p>現状維持を続けたいです。</p>
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>推進会・家族会を通じて、また職員に声をかけやすい雰囲気作りなどホーム全体の環境に反映している。</p>	<p>行政機関の苦情・相談窓口などの情報提供を積極的に行っていきます。</p>
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>個人的、ミーティング時など日常的に機会を設けている。</p>	<p>更なる環境作りに努めていきたいです。</p>
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>特別な場合（体調不良による欠員など）を除き、管理者はシフト勤務に入ることが無いようにし、ユニットリーダーを中心にして柔軟な対応がとれるように心がけている。</p>	<p>買い物・喫茶店への同行、救急搬送など個別に対応している。</p>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
18 職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	基本的に各ユニットのスタッフを固定化し、顔なじみのスタッフによるケアを心がけています。新しいスタッフが入る時も、利用者様、一人一人に挨拶・紹介しています。		新しいスタッフが入る時は、利用者様と互いに自己紹介を行っています。
5.人材の育成と支援			
19 職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	社内研修への参加、行政機関での講習会や資格習得などの啓発を行っている。		勉強会の時間・機会を取り入れていきたいです。
20 同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同じグループ内でのミーティング・会議等を行っている。		他ホーム・他業種間の交流を図りたいです。
21 職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	支店での相談やホーム内での日常話を聞くことにより把握できるように努めている。		職員の意見を反映させていきたいです。
22 向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	年2回の健康診断により健康管理を行っています。スタッフの要望を聞きながら勤務体制を整えています。スタッフ間の話し合いの時間を設けています。		現場の職員の声を反映させていきたいです。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>自宅、入院先、入所施設へ出向き、本人・家族・担当者様よりアセスメントを行っています。入所前には必ずホームを見学していただき、説明させていただいています。</p>	<p>現状維持を続けたいです。</p>
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>初期の介護計画書のプランには、お客様・ご家族の希望を記入し、それに見合った計画作成に努めています。</p>	<p>現状維持を続けたいです。</p>
25	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>初期の対応として1ヶ月の様子をスタッフとカンファレンスを行い、1ヶ月後、新しく“その時”に合ったプラン立てています。</p>	<p>現状維持を続けたいです。</p>
26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>まず、ホームを数回見学していただき、日常を感じていただけるようスタッフや他の利用者様とのコミュニケーションをとっていただいています。</p>	<p>現状維持を続けたいです。</p>
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>一人の人生の先輩として尊敬の気持ちをスタッフが共有し、“お客様に学ぶ”初心を忘れないように心がけています。</p>	<p>現状維持を続けたいです。</p>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28 本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様には、電話やお会いする度に日頃の状態・様子をユニットリーダー、ケアマネジャー、ホーム長からお伝えし、ご相談にて支援方法を一緒に考えています。		現状維持を続けたいです。
29 本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	馴染みの人や事柄を継続できるような雰囲気作り、アセスメントからの情報収集にも努めています。		現状維持を続けたいです。
30 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	友人や馴染みのお店等継続的な交流が出来るように働きかけています。		現状維持を続けたいです。
31 利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	お客様同士が上手くいくようにスタッフが調整役として、支援しています。日常生活の中で、会話を楽しんだり、一緒にレクリエーションに参加しています。		現状維持を続けたいです。
32 関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	ご希望がある限り、ホームへの来所や行事への参加等は歓迎しています。		現状維持を続けたいです。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
1.一人ひとりの把握			
33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>ご本人・ご家族様からの言葉を聞き逃すことがないように支援経過にメモを残し、ケアプラン作成時には必ず取り入れています。</p>	<p>現状を継続し、更に良い方法があれば取り入れていきたいです。</p>
34	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>入居以前の生活歴はご家族様にも協力していただいてセンター方式を利用し、記入しています。</p>	<p>現状を継続し、更に良い方法があれば取り入れていきたいです。</p>
35	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>お客様一人一人の様子はスタッフが介護記録に残しています。その中から支援方法を決めていきます。</p>	<p>現状を継続し、更に良い方法があれば取り入れていきたいです。</p>
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>毎月最低2回のカンファレンス、1回のモニタリングを行い、支援方法をスタッフと話し合い、計画書を作成しています。その後、ご家族様には説明と同意をいただくようにしています。</p>	<p>現状を継続し、実施回数は臨機応変に対応していきたいです。</p>
37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>モニタリングによって必要な時は計画作成を行っています。認定更新月には必ず作成し、少なくとも3ヶ月に一度は見直しを行っています。</p>	<p>現状維持を続けたいです。</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人ファイルに介護記録、食事、排泄、薬の説明書、受診記録等をファイルしてスタッフと情報を共有しています。		現状維持を続けたいです。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	医療連携体制を活かし、入退院時の支援や重度化した利用者様について医師と連絡を取り合い、つながりが持てている。		現状維持を続けたいです。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	お客様が安全・安心な暮らしが継続できるように警察、消防署等の協力をお願いしています。推進会を通じて民生委員の方にも働きかけを行っています。		現状維持を続けたいです。
41	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	ご本人・ご家族様の要望で訪問理美容のサービスを利用いただいています。		色々なサービスを利用し、希望に添えるように努めていきたいです。
42	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	要支援のお客様の介護予防のプラン作成の相談や情報収集のために地域包括支援センターに出向いています。		現状維持を続けたいです。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43 かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ホームの提携医の他、利用前からのかかりつけ医の医療を受けていただけるように、ご家族様の協力のもとに複数の医療機関と連携しています。		現状維持を続けたいです。
44 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	提携医の紹介による専門医師への受診や職員への相談・指示をいただいています。		現状維持を続けたいです。
45 看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	医療連携体制を活かし、週1回の健康管理と24時間オンコールによる相談指示をいただいています。		現状維持を続けたいです。
46 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院時にはご本人への支援方法に関する情報を医療機関に提供し、スタッフ・ケアマネジャー・管理者が見舞うように心がけている。医師、ケースワーカー、ご家族様とも情報交換しながら早期退院に結び付けている。		現状維持を続けたいです。
47 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	終末期に対する方針を定め、ご家族様、提携医を交えて話し合っています。状態の変化に応じて連絡を密にし、カンファレンスによりスタッフのケアの統一を図っています。		現状維持を続けたいです。
48 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	ご本人・ご家族様の意向を踏まえながら提携医、ご家族様を交え話し合っています。カンファレンスによりスタッフのケアの統一を図っています。		現状維持を続けたいです。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
49 住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	他の事業所への転居の際は介護サマリーを作成して情報の提供をしています。		現状維持を続けたいです。
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1.その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50 プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	ホーム内会議において個人情報保護の理解を深める勉強会を行っています。また利用者様名にインシヤルを使用し、申し送り時などで直接名前が出ないように配慮を行っています。		現状維持を続けたいです。
51 利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	ご本人の意向に沿えるように努めています。		現状維持を続けたいです。
52 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	安全面での配慮の基にお客様の体調・習慣、またその日の気分に合わせて、無理強いすることなくすごしていただけるように努めています。		現状維持を続けたいです。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53 身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	ご本人希望の美容院や移動理美容サービスを利用して2ヶ月に1度カットされています。洋服・小物類はスタッフと共に買い物に出かけたり、一緒に相談しながら決めています。		現状維持を続けたいです。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
54 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	お客様の希望を聞きながら、献立に取り入れるようにしています。週に1度は希望メニューを実行し、月に1度は外食の日を決めて出かけています。食事の準備・後方付けは、スタッフと一緒にを行っています。		外食の機会や希望メニューを増やしたり、出来ることを見極めながら食への楽しみが継続できるような工夫を続けていきたいです。
55 本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	医師の指示のもとに、スタッフ同席にてお酒・タバコを楽しんでいただけます。		体調、病歴等にて制限されることがありますが、なるべく希望に添えるように努めていきたいです。
56 気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄チェック表を利用し、定時での声かけやトイレ誘導を行っています。必要に応じてスタッフ二人介助にて対応しています。		安全・安心に配慮しながら臨機応変に対応していきたいです。
57 入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	ご本人の体調や希望を確認しながら入浴を勧めています。必要に応じて洗髪・洗身の介助を行っています。		安全・安心に配慮しながら臨機応変に対応していきたいです。
58 安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	体操や散歩、レクリエーションに参加していただき、日中の活動量を保ちながら、生活のリズムを整えられるように努めています。		体操、レクリエーションなど数や工夫を凝らしながら継続していきます。
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59 役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	お誕生日会、掃除、洗濯物たたみ、畑の水撒き・収穫作業等、お客様に合った役割・楽しみをもつていただき、スタッフと一緒に実施しています。		現状維持に加えて色々な工夫を凝らしていきたいです。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
60	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	スタッフの同行、ご家族様の協力のもと、近所の喫茶店でのコーヒータイムを楽しんでいただいています。同行時はご自分で支払いをしていただくようにお金の手渡しをしています。		機会を増やしていきたいです。
61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩(近隣の公園)・買い物などの外出を行っています。		機会を増やしていきたいです。
62	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	お客様の希望を取り入れながらバスでの遠足を行っています。		季節ごとの外出の機会を増やしていきたいです。
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	事務所を介してお客様の希望に応じて電話や手紙のやり取りが出来るようにしています。		現状維持を続けたいです。
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	リビング・和室・居室などその時のお客様の雰囲気に応じてコミュニケーションをとっていただけるように配慮しています。		日常の様子、活動などお知らせしていきたいです。
(4)安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	カンファレンスやミーティングで拘束についての勉強会を行い、理解を得ています。また拘束をしない為のケアの統一を話し合っています。		意識を高めていきたいと思います。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
66 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関にチャイムを設置していますが、スタッフの見守りにより鍵をかけることなく経過できています。		意識を高めていきたいと思います。
67 利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	日中はフロアでの作業をしながら状況を把握するように努めています。夜間は2・3時間ごとの安否確認と特変時の連絡対応ができるような体制がとられています。		意識を高めていきたいと思います。
68 注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	洗剤・薬剤など危険物に関しては施錠出来る所に保管していますが、お客様の利用に応じてすぐに使えるように配慮しています。		不便にならないように配慮したいと思います。
69 事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	ヒヤリハット、事故報告をもとにカンファレンス・会議等において情報の共有、ケアの統一など事故防止に取り組んでいます。		意識を高めていきたいと思います。
70 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	夜間の緊急連絡（提携医、ご家族、スタッフ間）も含めた周知、対応に努めています。		意識を高めていきたいと思います。
71 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署の協力にて防火・防災の消火、通報、避難訓練の実施。避難地のマップの掲示により避難経路が周知されています。		意識を高めていきたいと思います。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
72 リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	ご家族様へ現在の状態、予測されることなどを説明し、理解を得ながら安全・安心な生活が提供できるように努めています。		現状維持を続けたいです。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73 体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎日、午前・午後2回のバイタル測定を行い、体調の変化に留意しています。異変がある場合は、訪問看護、提携医に連絡し、指示を仰ぎます。		現状維持を続けたいです。
74 服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	内服薬の説明書をファイルし、すぐに確認できるようにしています。薬の変更がある場合は申し送りや日誌に記入して注意しています。		更なる徹底に留意していきます。
75 便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	散歩、体操、レクリエーションを実施し、体を動かすように努めています。水分摂取や毎朝の乳製品、繊維質の多い食材をメニューに取り入れるなど配慮しています。		創意工夫に努め、意識を高めていきたいと思えます。
76 口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後の歯磨きへの声かけ・誘導を行い、必要に応じて介助を行っています。		現状維持を続けたいです。
77 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎食量や水分摂取量をチェックし、必要に応じて介助や刻みやとろみをつけるなど調理方法に工夫をしながら個別に対応できるように努めています。		創意工夫に努め、意識を高めていきたいと思えます。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染予防マニュアルを作成し、スタッフ間での確認を行いながら、予防対策に努めています。		更なる徹底に留意していきます。
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	調理道具、布巾等に殺菌消毒、食品に関しては作り置き2時間以内を原則とし、2時間を経過した物は廃棄しています。		更なる徹底に留意していきます。
2.その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関先にプランターや鉢を置き、花を植えています。車椅子のお客様の訪問にも対応できるようにスロープを設置しています。		花の数を増やしていきたいです。
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節の花を飾ったり、フロアーの飾りつけには季節を感じとれる作品をお客様とスタッフで作成し、掲示しています。		行事写真やホーム通信、作品を増やしていきたいです。
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングのテーブル、椅子の応接セットや廊下で一休みできるように椅子を配置し、和室もあり、寛いでいただける空間に配慮しています。		現状維持を続けたいです。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居以前に使用していたなじみの家具や仏具・写真などを居室スペースに合わせてそのまま持ち込んで使用していただいています。		現状維持を続けたいです。
84	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	リビング・居室・トイレなどの毎日の清掃と換気の実施。エアコン使用時の温度調整などお客様の状態に配慮しています。		現状維持を続けたいです。
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	台所シンクの高さはお客様が使いやすいように低めに設置され、廊下は車椅子が2台すれ違える余裕があります。また安全に歩行できるように手すりの設置にも配慮しています。		意識を高めていきたいと思います。
86	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	居室前にネームプレートを掛けたり、トイレや浴室の表示を大きくしてわかりやすくしています。		創意工夫を続けたいです。
87	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	庭先のある畑で家庭菜園を楽しんでいます。ウッドデッキへ出て涼んだり、日向ぼっこをして季節を感じています。		創意工夫を続けたいです。

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

. サービスの成果に関する項目		取 り 組 み の 成 果 (該 当 する 箇 所 を 印 で 囲 む こ と)
項 目		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該 当 する 箇 所 を 印 で 囲 む こ と)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が 家族等の2/3くらいが 家族等の1/3くらいが ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)